
僕たちの歌姫

音無 無音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕たちの歌姫

【Nコード】

N8981W

【作者名】

音無 無音

【あらすじ】

ボーカロイド・UTAUの自分解釈集なのです。

キリトリセン(前書き)

まったく原作に沿ってますね、分かります。

40mP fast・GUMI (メグツポイド)

キリトリセン

昔の、過去の。

色褪せた記憶を。感情を。

切り離すために、思い出をなぞる。

「・・・・・・・・・・・・・・・・」

涙が零れる。

「なんか、泣けちゃうな」

簡単に出来すぎて。

そうだ。

難しく考えないで――。

そう、千切れればいい。

大切な“それ”は。

この間――昨日の朝まで僕の内側に“あった”はず。
なのに。

今気が付けば目の前にある。

目の前に、転がっている。

「・・・・・・・・・・・・・・・・」

トリモドセナイ。

切り取ってしまったから。

感情論で切り取った、未完成で曖昧な恋の色は。

山折や谷折。

ぐしゃぐしゃの皺くちやになってた。

「関係無いよ・・・・」
って。

割り切ってゴミ箱に捨てられたならば。
きつと切り取られる。

昨日僕が流した涙が――。

心の奥に閉じ込めておいたこの感情を、解き放つために。
無理矢理声を潜めこじ開けた僕は確信犯。

誰かが作った偶然も。

誰かが信じた嘘も。

諦めた瞬間に色を変える。

僕の要らない記憶を頭の中からかき消して。
フレッシュな
重たい荷物投げ出して。
そこに残されたものは何？

『弱い自分だけ』

大切な“それ”は。

この間――昨日の夜まで僕の綺麗な思い出きおく“だった”はず。
なのに。

今気が付けば。

名前さえ思い出せない。

「・・・・・・・・・・・・・・・・」

トリモドセナイ。

切り取ってしまったから。

感情論で切り取った、未完成で曖昧な恋の色は。

山折や谷折。

ぐしゃぐしゃの皺くちやになってた。

「関係無いよ・・・・」

って。

割り切ってゴミ箱に捨てられたならば、
きっと切り取られる。

昨日僕が流した涙が――。

切り取られ、消えていく。

僕が昨日愛したあの人――。

キリトリセン（後書き）

いい曲だよね

カラオケ配信けってーいおめ

ロツテンガールゲロテスクロマンス（前書き）

ヤンデレの女の子の話。

マチゲリータP f a s t ・ 初音ミク

ロツテンガールゲロテスクロマンス

アタシ、いつも思うの。

アナタに恋するために生まれたんじゃないかしらって！
薄い壁越しにこう一人で呟くわ。

「愛して」

いつもあなたを知ってる。

どんな個人情報でも……………。

だけど、叶わないことがあるの。

一つだけ。嗚呼。

愛しいアナタのあの顔を。

触れて……………撫でて、みたいわ……………。

アナタがまた違うこと歩いてるのを見たの。

それほど好きなのね。

なら早く言って頂戴。

殺して箱に詰めてあげるわ！

燃える写真。写っているのは今や知らないあの子。

誰にもアナタを渡さない。

アタシの事を好きにさせるの。

ほら……………見て。アタシはこんなにもアナタを愛してるわ。

アナタ「を」釘付け。

標本にしたいくらいよ。

どうして泣いているの？
悲しいの？

ああ、そう。　コレのこと？

ダンボールに詰め込んだ。
アナタの屍骸からだごと抱いてあげる。

ドアの向こう側に置くの。アナタへのプレゼントをね。
アナタが好きな子猫居るでしょう？
毎日首を一つずつね。

燃える写真。　写っているあの子。
そんな子いたかしらね？
「愛してるよ」そんな言葉。
軽すぎて反吐が出るわね。

「アタシは・・・アナタを永遠、愛してる・・・」
↑

ロツテンガールゲロテスクロマンス（後書き）

残念クオリティはいつものことさ
ストーリー、ダメ絶対。

嘘つきの世界（前書き）

すこつぷ fast・初音ミク

嘘つきの世界

僕が昔聞いた話がある。

眠りにつく少女を喜ばせた話。

あれも、これも、きつと嘘だったんだ。

汚いことは後ろに隠して、綺麗なことばかり前に並べて。
そんな夜みたいな言葉ばかり世間に広まってて。

君と僕は似た者同士。

なのに、それなのに。

分かり合えないのはどうして？

僕達が嘘をつき続け、君はそれを聞いてただ笑っただけ。

それは本当に笑っているの？

ううん、作り笑い。

そんな本当のこと也不知道で僕はただただつまらない冗談を吐き続けるだけ。

君を傷つけているなんて知らないで。

悪魔は嘘つきで、天使は正直者。

人は嘘も本当も言う。

悪魔なんか天使なんかよりずっと面倒なんだ。

「知らなくてもいいよ」

そんなことを知りすぎて。

今更後悔したって。そんな。

傷つけ、傷つかないように。

僕たちは嘘で覆い隠した。

だけど、嘘をつくことでまた誰かが傷ついて。
なんて人は。

脆く、弱く、そして何より、間抜けなのか。

君の瞳に写っている僕は一体誰？

君は誰にも優しくする。

だから、だけど、辛くたって笑ってみせるけど。

「隠したってわかるよ……」

裏では、影では、一人では。

君は泣いているんだろう？

その涙の理由を教えてよ。僕の前だけでは強がらないでよ。
嘘つきだらけのこの世の中で 僕は君だけを信じて。
そして。

つまらないこんな世界を壊したいんだ。

嘘つきの世界（後書き）

一回違う小説にみすうpしてもーた^p^
眠いんだね

＼(^o^)/オワタ

あ、カラオケ配信してるよ！

白い雪のプリンセスは（前書き）

のぼる → P f a s t . 初音ミク

白い雪のプリンセスは

「鏡よ鏡よ鏡さん世界で一番可愛いのはだあれ？」

「それはあなたです」

可愛がるのはやめてよ。刺のような視線が私に集まる。

優しいふりした彼女が素敵な晚餐に呼んでくれた。

料理を口に含めば彼女が零した「笑み」

薄れていく意思の中で私は夢を見ていた。

いつかのあのお伽噺。そこで時が止まった。

お願い。k i s sで目を覚まさせて。

白い棺から私を連れ出して。

突き刺さる憎しみはドラマ的な事情。

祈ったとしても王子はまだこ^きない。

「鏡よ鏡よ鏡さん」

ネクタイ任せや頬に挨拶するから妬みを買われてしまったじゃない。

七つの小人はいるけど、助ける素振りはないみたい。知らんぷりね。

誰かにそつと首を掴まれ「笑み」

たった一粒の涙さえ拭えずに呼吸がままならない。

視界が失せる。

消えそうだから、お願い、早く来て欲しい。

理由なんて問いたさなないで。言えないの。

望んでない憎まれはきつと愛の二乗。

もうすぐで居なくなるのかな。

途切れてく、命の音　まるで毒リンゴを食べた少女みたいに眠りに
ついた。

お願い。k i s s で目を覚まさせて。

私の心の声、届いてますか？

階段を上ってドアを開けるだけで、それだけで、見つかるわ。

お願い。k i s s で目を覚まさせて。

白い棺から私を連れ出して。

突き刺さる憎しみはドラマ的な事情。

祈ったとしても王子^{きみ}はまだこない。

王子様、

消えてなくなってしまう、その前に。

白い雪のプリンスは（後書き）

のぼるさんのうたこれしか知らん
カラオケ配信ちう

D e a r (前書き)

19・S S o u n d F a c t o r y f a s t ・初音ミク

D e a r

頭の中で君の声が何度も繰り返し返される。
今も私の心を揺さぶっている。

私の記憶で君はいつだって優しく微笑んでるの。

あの日の帰る途中君と二人きり。

笑いながら手をつないで帰ったよね。
ずっとずっと永遠に続くと思ってた。

君が最後に私に行った言葉。

「今までありがとう」がずっと鳴り止まないんだ。

逢いたくて逢いたくて。

声にならない声で君を呼び続けてるよ。
悲しくて苦しくて一人の夜が怖いから。
そんな時は夜空見て私は君を探してる。

君がくれた指輪を今も大切にしてる。

これが二人の最後の絆だからね。

遠い遠い世界で君は今も指輪をしているの？

いつか君に伝えたいと思っていた気持ちは
ずっと私の心の中に止まってるまま。

どこかで私を見守る君に届くよう私は歌う。

逢いたくて逢いたくて。

声にならない声で君を呼び続けているよ。

悲しくて苦しくて一人の夜が怖いから。
そんな時は夜空見て私は君を探してる。

大好きな君のこと。 ずっと忘れない。
移り変わる景色の中でも。

最後まで言えなかったこの言葉を君に贈るね。
君のことずっと・・・愛しているから・・・

D e a r (後書き)

ストーリーの後半！

他の曲もいいよねー
↑

カラオケ配信ちうだよー！

歌ってこい！！
()

シザーハンス(前書き)

N e m f a s t . 初音ミク

シザーハンス

愛して欲しいだけ。

この指にとまる雪は溶けない。

「こんな奴、心もブリキだろ？」

何処かで誰かがそう笑った。

僕が映す景色は歪んだまま。

この手は君のその頬に触れることさえできない。
それなら僕はその笑顔を守るんだ？

僕は、ただ、

愛して欲しいだけ。

傷つけることしか僕にはできない。

それなら、君をいじめる奴らをこの手で切り裂こう。

そうだ。

これが僕の生まれた意味なのか。

この手を誰もが恐れた。

嘲笑う奴らはもういない。

そのはずなのに神様、どうして？

気付けば周りには誰にもいなかった。

独りきり、だった。

僕はその笑顔のために戦った。
信じて戦った。 そのはずなのに……。

優しくて眩しい暖かい。

何かが・・・この手を通して伝わる。

そう、誰よりも、何よりも。

僕は弱かったんだ。

もう二度と何も傷つけないと誓おう。

今なら触れられると思ったんだ。

君のその頬に。

もう一度、君に会えるなら。

愛してあげられるんだ。

シザーハンス（後書き）

カラオケ配信ちうだぜ
うたおーぜ

Yellow (前書き)

k z f a s t . 初音ミク

Yellow

何時からだろう？ 気づいた今頃にはもう遅くて
君の笑う声が遠くにある。

そうか。

幸せの終わりなんてあつけないんだね。

今では数え切れないほどの涙、けだるい朝、

君と交わした言葉。 思い出で終わらせるものか。

君の笑顔、取り戻すために

いくつもの夜をこえて僕の願いが叶うその日まで、

僕は歌い続けるよ。

僕は諦めていたんだ。

壊れかけた旋律をもう一度集めて魔法をかけよう。

君の笑顔、取り返すために

流れる星に願いながら、この想い届くその日まで、

僕は歌をやめない。

ピリオドを打つのはまだ早すぎるよ。

伝えたい言葉はまだたくさんなんだ。

あの朝の、光を One More Time .

そう、あの場所を誰もがみんな待っているんだ。

いつだって僕らは忘れられない、輝くようなYellowの朝。

音と光のシャワー

終わることのない S t e p & a m p · C l a p

君の笑顔、取り戻すために

いくつもの夜をこえて僕の願いが叶うその時まで、
僕は歌い続けるよ。

Yellow (後書き)

好きだけど高音がきつい・・・
カラオケ配信してるよー

しゅーていん すたー (前書き)

デスおはぎ fast・重音テト

しゅーていん すたー

「きらきら ひかる おそらのほしよ」

ねえ、君の願い事は何？

思い出せないほど多い日々の中に埋もれてた願い事は、
遠い昔に泣きながらねだった
あのおもちやが運んでくるよ。

あの夜に声を飲んだ夜空。
だけど、私は大人になつたわけじゃない。

しゅーていん すたー

まだ届くかな？

もう一度、あの星に願いを込める。

Tell me しゅーていん すたー
下手くそな夢。 覚えていますか？

カラカラ回るながれ星の向こう側で

もう一度聞いて。

世界の幼い言い訳を。

ねえ今も覚えてる？

知らないことが多すぎて首をかしげ訪ねた私に

「知らなくていいんだよ」
って笑った君。

夕方、影が伸びる前にきつと。
君が見つけてくれるはずだよね。

しゅーていん すたー

「さよなら」さえまだ上手に出来ないんだ……………。
あの星空で迷子になって君を待ってるから。

しゅーていん すたー

夏の匂いを包み込むような、プラネタリウム。

Tell me しゅーていん すたー

私ね、本当は今も、君のことずっと信じているから。

しゅーていん すたー（後書き）

イマイチ

暗い森のサーカス（前書き）

マチゲリータP f a s t 初音ミク、鏡音リン、鏡音レン、K A
I T O

歌詞をそのまま引用している部分があります。

暗い森のサーカス

さあ、お立会い、お立会い！

今宵、お目にかけますのは、浮世の因果を背負わされ
そぞろに這い出でる忌み児に祟り児

揺らぐ手足も持たずに生まれ、泣き声震わす舌さえ抜かれ。
脳天、撫でる暗雲を。

母乳としたって浮かべる笑みの

おお、そのおぞましさ！

見たい奴だけよっというで！

そのサーカスは森のね、奥の奥にあるんだよ。

座長はとっても大きくて、10メートルあるんだよ。

キャストはみんな愉快だよ。容姿は変^{かたち}だけど。

だけどね、とっても楽しいんだ！

暗い森のサーカス！

二つ頭の偽物。

形の変な歌姫に、冷たい“モノ”食べる青いケモノ。

「望まれてこの躰で生まれてきた訳じゃない」

何でそんな目で私たちを見てるの？

顔が腐ってくよ・・・。

「苦しいよ、苦しくて仕方がない」と

彼女はいつたんだ。

それでも、それでも。このサーカスは続くんだ。

永遠に！

楽しい、楽しいよ。このサーカスは楽しい！
腐った実、溶ける目にただれた肌がうつる。

「死にたいよ、死にたい。ここから出してください」
「それは無理なこと」
と誰かが言っていた——そんな気がする。

歪んだ軀にや曲がって伸びる。

あんどん
行灯照りの通りを這えば、道行く誰もがその名をまさぐる。

この子にや一人でうずくまる。

影の高みはあつただろうが、腰を並べて語らう友は、後にも先にも
一人もおらず。

さあ、お立会い、お立会い！

見たい奴だけよつといで
見たい奴だけよつといで。

【暗い森へ、よつといで。】

楽しいよ。

暗い森のサーカス（後書き）

これは結構前から知っていた作品の・・・一つ。
梨本さんの次に大好きなマチゲさん（＊、＊）

戯言スピーカー（前書き）

ねこぼーろ fast・初音ミクAppend
読み方は たわごとすぴーかー
ざれごとじゃないの。

戯言スピーカー

詰め込んだ感情を一つずつ殺していく。
生み出した笑顔は「嫌い」の涙。

飲み込んだ傷跡は痛い。

でも言わない。

そうすれば、あなたは気付かないから。

君の言葉一つ一つが私を殺していくの。

君は知らない。わからない。

私の心を。

消した灯りは二度と灯ることはない。

「私」は「嘘」で出来た「わたし」だから。

日が明るければあなたはいない。

それでいい。

でも暗い時に残した傷は消えることはない。

心の奥では、いつものように笑うあなたさえ許せない。

「辛い」だなんて言えるわけない。

「私」は「道化」のように　　へへへ笑う　笑う　　

いま　きえた　わたし　うそだよ

君の言葉一つ一つが私を殺していくの。

許せないの、そんな私自身も。

あなたがいいと思うなら、私を殺して？

「私」は「嘘」で出来た「わたし」・・・だから。

戯言スピーカー（後書き）

直訳じゃね？

VOICE (前書き)

ラヴリーP fast・初音ミク

Voice

まるで、切なく降り積もる雪のように眩しすぎて。
儚く解けてゆく音のように・・・泣かずにいるよ。

「何もない」思っていたんだ。

けれど実際、現実には辛い苦しいもので。

長い長い階段。登るのに疲れたときにやっと会えると思ったのに。

もういないのね、受け止められない。

仕方ないから、この歌、song聴こうか。

今なにしてる？ 何したいの？

俺はここだ。

君にメッセージ、伝えるよ。

「愛してた」

・・・いや、愛してる、だ。

「何かある」思っていたんだ。

身振り手振りやってみても、なんの意味さえなかった。

あの温もりとあの優しさが今はもう無いんだから。
この歌、song聴こうか。

「辛い」「切ない」「さみしい」「苦しい」

そんな言葉全て「泣きたい」なんだ。

「ありがとう」を言う前に「ごめん」

それさえ言えずに。

今なにしてる？ 何したいの？

俺はここだ。

メッセージ、伝えるよ。「愛してる」

君のこと、想ってこう願うよ。

切なく降り積もる雪のように眩しすぎて、

強く生きていく花のように、幸せになって欲しい、ってね。

VOICE (後書き)

直訳だし、わけわからん・・・
どういうことなの・・・

ローリング・ガール（前書き）

w
o
w
a
k
a
f
a
s
t
・
初音ミク

ローリングガール

ひとり、孤独な少女はいつまでも届くはずのない夢を見ていた。
騒ぐ、頭の中をぐしゃぐしゃと掻き回しながら。

「だめだ、もう失敗」

間違い探しに終わってしまえば、もう一度、回るの。

「もう一回、もう一回」

言葉に意味を奏でながら少女は、言った。

「私は今日も転がります」と。

「もういいかい？」

「まだですよ」

まだまだ先は見えないので、息を止めるの、今。」

転がる彼女の成れの果ては、

届くはずのない向こうのあの色。

重なる君の声と、私の声を混ぜ合わせながら。

「何も問題はない」

そう呟いた。

間違い探しじゃなくて、間違いさえ起こしてしまおう、と。
誘う、坂道。

「もう一回、もう一回」

無口に意味を重ねながら少女は、言った。

「私をどうか転がして」と。

「もういいかい？」

「もう少し

もうすぐ何か見えるだろう」

と、息を止めるの、今。

「もう一回、もう一回」

言葉に笑みを奏でながら少女は、言った。

「私をどうか転がして」と。

でも、貴方はこう言った。

「もういいかい？もういいよ。」

そろそろ君も疲れたらう？ね。」

息を、止めるの——今。

ローリングガール（後書き）

直訳

才能ないらしい。

モザイクロール（前書き）

DECO*27 fast・GUMI（メグツポイド）

モザイクロール

あたしが言つたある言葉。

「*****」

それが君に突き刺さつた。

突き刺さつた傷口から漏れ出した液をあたしは

「愛」と例えてみた。

思いやりが欠けた形だけの後尾は、

腐れ縁のあたしと君に似てると思った。

「それでも好きなの」……………とか（笑）

愛したつていいじゃない。

縛つて、誰にも、触れないように。

これも運命でいいじゃない？

消える、消える。 とある「愛世」

終わる頃には君には飽きちゃってるよ。

「愛」か「欲」かさえ分からなくて

放つことはなんとしよつか？

思いやりが欠けた形だけの後尾は、

腐れ縁のあたしと君に似てると思った。

「それでも……いいから……!!」

しがみ着いてもがくことを、愛というの？
殺したっていいじゃない。
君が嫌う――

「あたしなんて」

愛したっていいじゃない。
縛って、誰にも、触れないように。
これも運命でいいじゃない？
消える、消える。

とある「愛世」

モザイクロール（後書き）

そろそろ僕は反感を買ってみようかと切り出してみる。
そして僕的には「ゲノミクロナックル」の方が好きだよ

ストロボナイツ（前書き）

k z f a s t . 初音ミク

ストロボナイツ

キラリと光るように流れる星たち。

「見つけて欲しい・・・！」

だから私は、ここにいます。

誰かが手を伸ばすその合図をしたら、そっと回る星たちよ、光って。

誰もいないこの公園にはじめての冬が来たよ。

流れ星たちがぶつかる音に胸が鳴る。

ブランコから見上げた夜空。

名前はわからないけど、あの綺麗な星に近付きたい。
ほつき星になつて。

キラリと光る星。

みんなが指を指して笑ってる。

君が私を呼んでるの？

・・・もつと繋ぐ力にして・・・届いて！

綿雲が風に運ばれて消えていく。

夜の闇に私の姿が映る。

最近は街明かりで星を忘れてしまっている人たち。

これが最後だから、ちゃんと見てて。

キラリと流れる。

「見つけて欲しい・・・！」

だから私は、ここにいます。

誰かが手を伸ばすその合図をしたら、そっと回る星たちよ、光って。

キラリと走る星が思い出させる。
遊んでた、あの空を。
弾けて消えていく星の軌跡。
「また、会おうね!」
——この空で。 きっと。

ストロボナイツ（後書き）

ネタ切れなにそれこわい

愛言葉（前書き）

DECO*27 fast・初音ミク

愛言葉

「いつも僕の子供がお世話になってます」
そんなあなた方に、感謝、感謝。

このご恩を一生で忘れないうちに心の中に秘めた想いととも
に歌にしてみました！

愛言葉は「愛が10」ありがとう」

僕とか君とか恋とか愛とか好きとか嫌いとか
また歌うから。

今、僕は君が好きで、
てか、君が好きで、
むしろ！君が好きで。

こんな僕を君は好きでいてくれてて。
愛してくれて。

こんな歌聞いて、泣いてくれて、ありがとうね。

「僕の子供が誕生日を迎えたときに祝ってくれて39ました」
このご恩は、
一生で限られた少ない時間のなかで作った曲と詩に載せて君に届け
よう。

これから、ずっと、よろしくね。

僕とか君とか恋とか愛とか好きとか嫌いとか
まだ足りない？（笑）

じゃあ、そうだなあ・・・。

「昨日何食べた？」

「何してた？」

「何回僕のこと思い出した？」

・・・とか、話してみよつか！

「君食べた」・・・バカ。

「ナニしてた」・・・バカ。

「君のことなんか、忘れちゃった」

・・・バカ。

君が好きで。・・・っていうのは嘘で（笑）

じゃなくて、ほんとに大好きで。傷つけたくないから。

でも君が好きで。愛して暮れて。

君と笑いたい。「こんな歌、あつたね」って一緒にね。

君みたいな、僕？ 僕みたいな、君？

似てるけど違う。 違うから、似てるんだ。

「好きだよ」

そういうたびに増える「好き」の気持ち。

そんな気持ちは僕から沢山、君への。

くたばれPTA（前書き）

梨本うい fast・初音ミク

くたばれPTA

ふあつきゅー

やりたいと思うことは、いけないことばかりで。

「なんでダメなの？」

訪ねたところでわかる訳がないけど。

若くてごめんなさい。 反抗期でごめんなさい。

それもあるけど、けどねあんたら。

さすがに厳しすぎやしませんか？

「いい子になりなさいね」

そういういい子。 みんなが言う良い子なんかになれないし、なりたくもない。

「あれがダメ」とか「これがダメ」とか

よくまー、考えつくもんだ。

常識気取ってふんぞり返んな。

とつとくたばれPTA

「先生！質問ですっ！」

「なんですか？黙りなさい」

「どーしてなんですか？」

「うるさい、黙りなさい」

あんたら、どんだけだよ。 つまらない人間なんですか？

真面目ぶってるのは構わないけど、そんなんじゃ疲れる疲れる。 たまには息抜きしませんか？

退屈なテレビの向こうは昨日も今日も明日もきつと。
不抜けた話題ばかりか。

あれもできないし、これもできない。

俺たちは一体何をすればいいんですか？

中途半端なお前ら大人がクソガキけなすな。

どっちが子供か分かりやしねえ。

「差別」だとか「卑猥」だとか

言葉狩りも程々にしろ。

便所に書いた落書きに目くじら立ててんじゃねー。

おとといきやがれPTA

何が悪いのか

ハッキリしねーな

正直、あんたら大人も分かっちゃねーだろ？

勝手な持論を俺らに押し付けんじゃねーよ。

じれったい。 ホントうざったい。 やかましいわ。

ちよつと黙つてろ、PTA

ギヤーギヤー騒ぐな、PTA

ムキになんじやない、PTA

ひっこんでろ、PTA

「あれがダメ」とか「これがダメ」とか

よくまー、考えつくもんだ。

あれもできないし、これもできない。

「やるな」と言われりゃ余計そうさ。

ダメと言われてもあれもやりたいし、これもやりたい。

そんなら、こっちやあ正々堂々やったるわ！

好きに歌わせろ！好きに笑わせろ！

文句があんならかつてこい

とつとくたばれPTA

くたばれPTA（後書き）

敵が増えた。

リンネ（前書き）

ハチ fast・初音ミク

リンネ

黒い山羊が呟いた。

『白線よりお下がりよ。鈍色電車通り去って。』

今度は隣で猫が問いかけた。

『貴方は何処に向かうんだい？ここらも直に死んじまって』

赤い赤い手首を携えた私、一人根無し草。

錆びた水を口に含んだら、次の駅へ行くんだ。

また、どうか。どうか、愛を。

よく見れば帰りの電車何か何処にもありやしない。

教えてよ、ダアリン。ねえ、ダアリン？

声が聞こえた、そんな気がしてた。

枯れた花は呟いた。

『感情がない。心は憂い。夕を吐く』

蝉が泣いて、落ちる頃に裂かれた電線の下。

『立入禁止』そんな看板蹴っ飛ばして。

猛り影が・・・零れ出す。

「見えない」と泣いて。

私の想いを探し続けているわ。

教えてよ、ダアリン。ねえ、ダアリン？

鳴らない電話の命は何処に？

ぐったりとしている環状線。

そうか、ここには無いんだ。ここに、終点は無い。

左 左 右 この順で鳴る踏切の音。

『カンカラリンドウ』

カラスは言う。

『あの頃にはきつと戻れないぜ?』

『君はもう、大人になってしまった!』
汚いノイズと共に言う。

また、どうか。どうか、愛を。

終わらないこの永遠の輪廻を千切ってくれはしないか。

さよなら、ダアリン。ねえ、ダアリン。

あの日私は大人になったの。

絶えず想う 二人、一人。

暮れ落ちた言葉はもう取り返せないよ。

さよなら、ダアリン。ねえ、ダアリン。

『独り哀れに歩めや少女』

今度は誰がソレを言ったの?

弱虫モンブラン（前書き）

DECO*27 fast・GUMI（メグツポイド）

弱虫モンブラン

ありったけの言葉で愛したけど、重いわ。
あれだけの言葉なのに。
それだけのことなの？

愛したのは、誰だった？
あれほどの沢山な時間がまるで意味の無いように、
一瞬で消えて無くなったの。
まだ、触れてたハズだったのにな。

忘れちゃえば、消える光。

本当だって良いって思えない。
まだきつとアタシは弱い虫なんだ。
キミとアタシ。 比べる会議をするの。
アタシがまだ、キミの中に堕ちていく証拠。

ありったけの言葉で愛したけど、重いわ。
あれだけの言葉なのに。
それだけのことなの？

愛したのは、誰だった？
あれほどの沢山な時間がまるで意味の無いように、
一瞬で消えて無くなったの。
まだ、触れてたハズだったのにな。

麻酔をかけてよ。 火照ってく心の声。

本当だって良いよ。戻れるはずなんてないから。
アタシはまた、怖くなる。

モンブランは甘味。

裏も何もない。アタシのまま、その甘さに溺れたいの。

想天、キミがいる。

不要なものは取り除かれ、消えていく。

もうアタシは君に想いを伝えられやしないんだ。

「キミが死ねばいいんだ。・・・今すぐにも」

本当だって良いって思えない。

まだきつとアタシは弱い虫なんだ。

キミとアタシ。比べる会議をするの。

アタシがまだ、キミの中に堕ちていく

本当だって良い。そう思いながら、

内心「嘘でありますように」と願うアタシがいる。

考えた末、それはアタシがまだ、『弱虫モンブラン』だったんだ。

キミが入ってる。

くり返し果てる。

それに答えよ、とあたしは喘ぐの

弱虫モンブラン（後書き）

敵を増やす。

楽しみが増える。

そして

最後はあえて訳さない。

炉心融解（前書き）

i r o h a f a s t . 鏡音リン

炉心融解

街明かりがとても華やかで綺麗。

エーテル麻酔の冷たさと逆のように。

眠れない時間は午前二時。 全てが急速く変わる。

オイル切れのライターや、焼けつくような胃の中。

そんな全部が嘘だったら、本当によかったのにな。

光の溢れる昼下がり

君の首を絞める夢を見たんだ。

君の細い喉が撥ねる数瞬を、

僕は今にも泣き出しそうな目で訴えていた。

核融合炉に飛び込んでみたい、と思う。

きっと真っ青な光に包まれて綺麗なんだろうな。

核融合炉に飛び込んでみたら。

そしたら、全てが許されるような気がする。

ベランダの向こう側。 階段を上っていく音。

陰り出した空が窓ガラスに、部屋に落ちるように曇る。

拡散する夕暮れ。 泣き腫らしたように真っ赤な陽。

溶けるように少しずつ死んでゆく世界。

春風に乾いたカーテンが揺れて気持ちのいい頃。

君の首を絞める夢を見たんだ。

切れた唇から溢れる言葉は 「*****」

核融合炉に飛び込んでみたい、と思う。

きつと真つ白に記憶が溶かされて消えるんだろうな。
核融合炉に飛び込んでみたら。
また昔みたいにくっくり眠れるような気がする。

時計の秒針、テレビの司会者。
そこにいるけど、見えない誰かの笑い声。
飽和して、反響した。

軽快に、速く、扇動が。
耳鳴りが消えないやまない。

誰もみんな消えてく夢を見たんだ。
真夜中の部屋の不気味な静寂が胸につつかえて、
上手に息が出来なくなるなる夢を――

「*****!!!!」

核融合炉にさ飛び込んでみたら、
きつと眠るように消えていけるんだって思うよ。

僕のいない朝。
今よりずっと、もっと素晴らしいはず。

全ての歯車が綺麗に噛み合い回りだす。
きつと、そんな世界だろ？

炉心融解（後書き）

また敵が増えたか

鎖の少女（前書き）

のぼる → P f a s t ・初音ミク

鎖の少女

もう何もかも嫌になる前に
ホントノ愛をクダサ……

帰ってきたあの評価^{テスト}。

今日は少し下がったかな……。
破り捨てたいよ。

期待を超えられず傷が増えていくの。

過去を振り返ればそんな結果のために捨ててきた。
来の夢。

友達とか、将

そうやって自由を奪われ生きる。
なんで？

ココロを鎖で縛られた操り人形^{ジュエル}
わたしはアナタの装飾品なの。
もっと輝ケリクルケリクルケ

誰のためにわたしは生きてるの？

“ジブン”とは言えないままで。

もう何もかも嫌になる前に

ホントノ愛ヲクダサイ

『希望』って指で砂に書いても消されちゃう。
笑顔の子供たちがなぜが遠くに見えたの。

歩むべき人生を決められた 束縛人形。
アナタはわたしの操り師でしょ？
ずっと見えない鎖で操る。

こんな作られた物語ならば
全てを塗りつぶしてなくしたい
夜中に抜け出すみたいに
逆らう勇気が欲しいよ・・・！

街を早々と歩く人たちの影を追いかける。
留まる小さなカケラ一人。
意思なんてないまま今まで生きてた。

嘘だらけの言葉でわたしをもう惑わさないで。
あなたの言いなり？そんなのもうやめる！
わたしの心はお金じゃきつと買えない。
世界で一つだけの——大切なモノなんだから・・・！！

誰のためにわたしは生きてるの？
答えは目の前にある。

わたしから未来を奪うそんなこと許さない
お願い。
もう何もかも嫌になる前に

心の鍵を解いて・・・！！

ハッピーシンセサイザ（前書き）

E a s y P o p f a s t ・巡音ルカ、G U M I （メグッポイド）

ハッピーシンセサイザ

ハッピーシンセサイザ

君の胸の奥まで届くように綺麗なメロディを奏でるよ

思い出したあの片想い。

儚く散ったけど今となればもう笑い話だね。

見るもの全部キラキラしてた。

あの日々たちが綺麗に笑ってるように見えたの。

我慢することばかり覚えなさいいけないの？

「大人になつて頂戴ね」 ならなくたっていいよ。

知らないことばかり知らないなんてはつきりと言えなくて

「大変お似合いですよ」 嘘ついてごめんね？

ハッピーシンセサイザ

君の胸の奥まで届くように綺麗なメロディを奏でるよ

消してあげるよ。この音で

つまらない「建て前」やなこと全部を。

取り柄がない僕にただひとつだけほんのちよつとできることがあるんだ。

心を躍らせる 飾らない言葉を電子音で伝えるよ！

好きになること。 別に理屈何かと違う

「こじつけ」なんて、本当はいらないんじゃないのかな？

時代のせいと諦めたらそこまでだよ！

踏み出さない限り止まったままさ。

「ごめんね、夜遅くに電話かけちゃって」

「ううん！別に大丈夫。でも驚いたな。私も掛けようと思ったんだ」
まるで心の裏をくすぐられているみたいに
ひかれ合う二人に、幸せな音を♪

ハッピーシンセサイザ

ほらね、楽しくなるでしょ？

涙さえ拭うメロディを奏でよう！

別に強がらなくてもいいんじゃない？

自分に素直になればいいよ。

取り柄がない僕にただひとつだけほんのちよつとできることがあるんだ。

ちよつぱり照れちゃうような単純な気持ち、電子音で伝えるよ！

ハッピーシンセサイザ

君の胸の奥まで届くように綺麗なメロディを奏でるよ

消してあげるよ。この音で

つまらない「建て前」やなこと全部を。

取り柄がない僕にただひとつだけほんのちよつとできることがあるんだ。

心を躍らせる 飾らない言葉を電子音で伝えるよ！

ハッピーシンセサイザ

ほらね、楽しくなるでしょ？

涙さえ拭うメロディを奏でよう！

別に強がらなくてもいいんじゃない？

自分に素直になればいいよ。

取り柄がない僕にただひとつだけほんのちょっとしたことができることがあるんだ。

ちよっぴり照れちゃうような単純な気持ち、電子音で伝えるよ！

ハッピーシンセサイザ（後書き）

長い・・・文字多い・・・

ペテン師が笑う頃に（前書き）

梨本うい fast・初音ミク

ペテン師が笑う頃に

愛されていた？

それは君じゃなく、僕自身だったのさ。

声の聞こえる方へ耳を傾ける。

紅色の錆びた空に僕は跪いて空を拝む。

死にたがりピエロは化粧さえしないでマヌケ面。

夜更しも程々にしなさいな。

朝が来ちゃうよ 逃げないとね

何処へ？

騙されるのが上手なのは床上手。

他人の不幸は蜜の味ってね！

アバズレ貴婦人丸裸！

渡る世間は・・・馬鹿ばかり！

ペテン師が笑う頃に

安い不幸自慢なんかでお涙頂戴

喚く キチガイ善人 ピュアな人害？

都会に咲く花のように気づかなきゃ無意味な存在だろ？

明後日の今頃には、その醜く酷い身体を忘れてしまいたいよ。

ブラウン管越しの死体なんかリアルじゃなくて興味ない。

そんなに怖い？ だったら念仏でも唱えてりゃいいじゃない。

「南無阿弥陀仏」

幸せを運ぶ青い鳥なんて羽根がなけりゃただのゴミじゃん？
騙されるアホとそれを騙すアホ。

同じアホだったら笑っちゃえ

ペテン師が笑う頃に

薄っぺらいお前らのプライド教えてよ。

自称教祖様の醜い醜態。

ありきたりなラブソング？

退屈過ぎて聴きたくもないよ。

愛の形探してるよりも先にすべきことなんだか知ってるんだろ？

夢から醒めた羊たち。

眠ることが出来ないまま 廻り続ける

何時まで？ 何処まで？

迷子なら、さあ、こちらへおいで。

もっと愛せ 強くしゃぶれ 骨の髄まで

ペテン師が笑う頃に

安い不幸自慢なんかでお涙頂戴

喚く キチガイ善人 ピュアな人害！

都会に咲く花みたいに五分もしちゃえば忘れちゃうんだろ！

明後日の今頃には、その醜く酷い身体を忘れてしまいたい。

敬意ある君にこの言葉を送るわ。

死ぬ。

m a g n e t (前書き)

m i n a t o (流星P) f a s t・初音ミク、巡音ルカ

百合、GL、レズ、同性愛の苦手な方は避けてください。
見方によっては違いかもしんねーけど

magnet

か細い火が心の橋に灯るように私たちの熱情は燃え広がった。
私はふらふらと何かに導かれたようにあなたを見つけた。

絡み合う指をゆっくりと解いて、
触れ合う唇の中で下を絡める。

許されないことだから、尚更燃え上がるの。

抱き寄せてほしい 本当の愛だと、確かめて欲しい。
間違いないんだよね？そう思わせて。
キスをして塗り変えて欲しい。

今はこの魅惑のときに酔い溺れたいの・・・。

束縛して、もっと私を必要として。

愛しいなら執着心を見せてよ。

おかしいことがたまらなく好きになるの。
イケないトコまでイケばいいよ。

迷い込んだ心なら、優しさなど感じる暇なく簡単に溶けていくの。

繰り返したのはあの夢の中じゃなくて、
現実の私たちだったの。

あなたに触れてからもう戻れないと知った。
それでいい それでいいの。
誰よりも大切なあなた。

夜明けが来るたび私は不安になり、泣いてしまう。
そんな私に「大丈夫よ」と優しく囁くあなた。
……あなたも、泣いていたの？

抱き寄せてほしい 本当の愛だと、確かめて欲しい。
間違いないんだよね？そう思わせて。
キスをして塗り変えて欲しい。

今はこの魅惑のときに酔い溺れたい。

マグネットのように私を引き寄せて。
例えばいつか離れたとしても巡り会えるように。
触れていて、お願い。戻れなくなっていていい。
それでいいの。 誰よりも大切な あなただから。

パラジクロロベンゼン（前書き）

オワタP fast・鏡音レン（COI・鏡音リン）

パラジクロロベンゼン

ボクは誰の、なんのために歌うんだろうか？

「パラジクロロベンゼン」

ただ意味さえ理解せず歌うよ。

そうだ。答えを導き出すためにボクは走っているんだ。
その先にたどり着いた時。何もないと知ったけど。

さあ 歌おう！踊ろう！

さあ 喚こう！叫ぼう！

犬も猫も牛も豚も皆 狂おう そして眠ろう。
朽ち果てるまで ずっと

ボクはルールが嫌で縛られたくなくて。

だからボクは逃げ出したんだ。

後先なんて考えないで

指図されるのが嫌だ。 少し悪になりたかった。

ある深夜、ボクは家を抜け出し夜の街を走り抜けた。

「なんのためにいきるの？」

ボクは野良猫に問いかけた。

猫は何も答えるはずない。

ただただ、見下した目でボクを見ていた。

飲めもしないコーヒーを飲み干して、曇り空を見上げた。

「いまのきみになにができる？」

そんなの知らないし、わからないよ。

だからボクは歌い叫ぶんだ。

「パラジクロロベンゼン」

その意味さえ理解なんかしないで喚く。

これで君は満足だっていうの？

掟とか規則とか破ったら何が変わるっていつの？

そう、誰でもいいんだ。 この思いをぶちまけたい。

「*****」

悪を叩き正義を振りかざした。

「正義」と言う盾でストレス解消。

周りが止めようとボクらは気付かない。

愚かな行為だと。

この歌に意味はあるの？

この歌に意味はないよ

この歌に罪はあるの？

この歌に罪はないよ

「*****」の意味は？

「*****」の罪は？

「*****」に意味なんてないよ。

この歌の意味は・・・「*****」

ボクはそして気付いたんだ。

「所詮は全て、偽善なんだろう？」

ボクの生きる価値は何？

野良猫は水に溺れ死んでたよ。

空になったコーヒーを投げ捨て闇に覆われた真っ黒な空を見上げた。

今のボクは何をしてるんだ？
それすら、わからないよ。

もうなんにも わかんない

そしてボクは笑うんだ。

「パラジクロロベンゼン」

ボクはキミを突き飛ばした。

ボクはいつだって正しく、キミはいつだって間違っている。

「パラジクロロベンゼン」

虚無に包まれて（´・ω・｀）……連鎖。

ボクが消えるまでね。

さあ 歌おう！踊ろう！

「パラジクロロベンゼン」

さあ 笑おう！妬め！

「パラジクロロベンゼン」

ボクも キミも 何もかも全部

「*****」

さあ 狂おう 眠ろう。

朽ち果てるまで さあ。

パラジクロロベンゼン（後書き）

選曲ミス・・・かな

アンチクロロベンゼン（前書き）

オワタP fast・鏡音リン（C o l・鏡音レン）

アンチクロロベンゼン

苦しいよ 悲しいよ 悔しいよ やめたいよ・・・
それすら許されず、更には何もかも失ってしまつて。

辛すぎて 憎すぎて 虚しくて 消したくて。
なにもかも投げ出し、飛び出して喚き叫びたいよ！

キミは何も知らないで真夜中の街をかけていく。

ボクは何も言わずそれをただ見てるだけ。

安っぽい言葉を並べてゴールは何処にあるの？

ルールなんてそこにはなくて、脆く朽ち果てるだけだ。

ボクはそして語るんだ。

この四の全てを正してみせると。

ボクは野良猫に語る。

「僕なら全てを正せるよ」

出来もしない無意味な誓いを振りかざし、独りよがりに酔いしれる。

みんな知ってる 理解してる

だから ボクは今日もこうするんだ。

晒され 壊され 錆びつき やがてはすべて皆朽ち果てる

ありもしなかった嘘の噂は流れ流れる度に誠となり帰ってくる。

嘘だっていい 構わないよ

ボクたちが正しい そうだろう？

キミたちの罪深い背徳を捻り潰してやる

この歌に意味は？ そんなのないよ
この歌に罪は？ そんなのないよ
あの歌に意味は？ そんなのないよ
あの歌に罪は？ それはね・・・・・・・・

ボクはそして気付いたんだ。

所詮は何も生み出さない、と。

キミの生きる価値ってなんだい？

野良猫は水に突き落としたよ。

意味の無い言葉に踊らされて振り回された結果失うんだ。

何が善？

何が悪？

もう何も分からないよ さあ 一緒に狂おうか

ボクは誰の、なんのために歌うんだろうか？

「パラジクロロベンゼン」

ただ意味さえ理解せず歌うよ。

悪を叩き正義を振りかざした。

周りが止めようとボクらは気付かない。

愚かな行為だと。

有り得ない 許さない 止まらないこの気持ち。

この辛さや憎さを貫き、心を討つてやる。

苦しい、悲しい、虚しい、消したい

それすら許されず 諦めがボクを救ってくれるから。

嘘だっていい 構わない

許そうか 認めよう

今だったら笑いだとか妬みだとか狂おしく愛せる気がするよ。
善でもいい 悪でもいい *しましろう 眠ろうか

もういいんだ、ボクは疲れた。

ねえ、ボクたちは救われますか？

死にたがり（前書き）

梨本 P f a s t ・初音ミク

死にたがり

雲ひとつない真つ青な空が広がる日曜日。

自堕落に浸り優越感を味わう馬鹿一人。

別に大して気持ちいいわけじゃないのに、喜ぶ姿はらりぱっぱ。

わざわざネタ集めに必死なうつ病気取りの一般人。

そいつらをいい人ぶって励ましてやってたけど、もーめんどいわ。

死にたがり 死んでもいいよ

どうせ誰も構っちゃくれねーだろ？

死にたがり 死んでもいいよ

もー聞き飽きたわ 死んでもいいよ？

「お前に何がわかるんだ!？」

僕をわかってない君が言う。

「なら、勝手に死なせてくれよ!」

一人になれない君が言う。

どんなに自分が不幸と嘆いたところで、結局みな、他人事だろ？

泣いて 喚いて 手首切る そんな、わざとらしーわ!

死にたがり 死んでもいいよ

どうせ誰も気づいちゃくれねーんだろ？

死にたがり 死んでもいいよ

死にたいなら 死んだらいいよ

生きたくない 死にたくもない

自分が何がしたいのかさえわからない

そんなの僕に聞かれても困るだけさ。

どーでもいいーから つべこべ言わずに
生きるのか 死ぬのか
はつきりしろ！

死にたがり 死んでもいいよ
どうせ誰も構っちゃくれねーんだろ？

死にたがり 死んでもいいよ
勝手にすれば？ 死んだらいーんじゃない？

死にたがり お前まだ生きてたの？
生きるか死ぬかさっさと決めろよ？

死にたがり 死んでもいいよ
死にたくないんだったらせーぜー生き延びろよ！

僕の知ったこっちゃねーんだよ

死にたがり 死にたがり
死にたがり ねえ死にたがり
つべこべ言つてねーでせーぜー生き延びてろ！

死にたがり（後書き）

歌詞をなくして大変だった

巨大少女（前書き）

40mp fast・初音ミク

巨大少女

だから、もっと高く背伸びしたいの。
あのビルより高く。

窓際から手を振るあの子。

私は照れ笑い隠せなくて、目を背けちゃったんだ。

だから、もっと高く背伸びしたいの。

あの山より高くね。

頂上から手を振るあの子。

今の私なら、自信が持てるきがした。

心も体も第三次成長期を迎える。

今の私よりもっと大きくなってみせるよ！

大惨事、世界は毎日が混乱していて、

明日の私から目が離せないんだ。

だから、もっと高く背伸びしたいの。

雲より高くだよ。

空飛ぶ飛行機から私に手を振るあの子。

私は君のためにどこまでも飛んでいくよ。

だから、もっと高く宇宙から見てみたいの。

世界の景色を。

君の姿が見えなくなって、少し寂しくなった。
会いたいよ。

心も体も第三次成長期を迎える。

今の私よりもっと大きくなってみせるよ！
大惨事、世界は毎日が混乱していて、
明日の私から目が離せなくなるんだ。

今は少しでも高くでいいの。

君より高くね。

隣にいる私のことに気付くだけでいいの。
それだけ。それだけでいい。

巨大少女（後書き）

カラオケで皮肉気味に歌ってやるんだぜ
俺のほうが背エ高い・・・ってな

なれのはて（前書き）

梨本 P f a s t 初音ミク

なれのはて

ありがとう さよなら また明日

そんな在り来りな日常

このままどこかへ消えてしまいたいよ

別に死ぬ気なんてないけど、遺書でも書くね

無意味なことだよって叱ってよ・・・

なれのはて

君が笑っている それ以外に生きる希望なんてない
変わっていく街を背にして僕は息をする 苦しくて

電車で揺られて遠くまで行くんだ

切符なんか持つてるはずなのに、どこまで行くんだ？

弱音を吐いても、僕は弱いままで

ねえ、独り言聞いてよ 飽きるまでさ

なれのはて

多過ぎる人混みの中、君が笑う

生きる場所を探してるんだ 手遅れになってしまっ前にね

落ちば拾いに夢中で、空を見上げることが忘れてたよ

なれのはて

君が笑う それ以外に生きる希望なんてない

隋ちていく街を背にして僕は息をした 苦しいよ

なれのはて

君が笑う　それだけが僕の全てだったんだ
色褪せた今までの優しい思い出を抱きしめ、道を往く

なれのはて。

なれのはて（後書き）

歌いやすいよね

二息歩行（前書き）

DECO*27 fast・初音ミク

二息歩行

「これは僕の進化の過程の1ページ目です」

誰か愛する相手を抱きしめてあげたいから、

僕は二本足で歩くよ

たったひとりで生きること そんなの寂しいから
君と息するよ

「ねえ、ママ 僕、好きな人ができたんだ！」

“おめでとう”

会いたいよ

ねえ、キミは今頃誰の乳を吸って生きてるの？
言葉はもう思えたのかな？

「これは、パパで・・・、これがママ！で、これがニーナでしょ？」
“よく出来ました 今すぐ行くね”

あれ？おかしいな・・・

君を抱きしめるために僕は前足を浮かせたけど、
それは君を傷つけ始めるんだ。

覚えたての言葉、それだって君に突き刺さるナイフ。
切り裂かれる人生。^{ライフ}

「それならじゃあ、

アタシがナイフを放つ前にその口をこの口で塞いであげる」

相対のチュー

君は今からアタシの息を吸って生きていくの
言葉なんか唾液でとつくに錆び付いてた。

ねえ 君は今更

僕の息を吸って

「大好き」だなんて言ってみせてるけど・・・

それなら、もう、いつそのこと

ボンベのように、一生ね

僕が吐く言葉を吸って、息絶えて。

二息歩行（後書き）

p v の影響あり

f r o m Y t o Y (前書き)

ジミーサムP f a s t 初音ミク

f r o m Y t o Y

君は僕に背を向け歩きだしたんだ。

言葉も交わさないまま。

揺れる心の中で僕はまるで子供のように叫んだ。

「ねえ・・・行かないでよ！」

僕は背を向け歩きだしたんだ。

この涙がこぼれ落ちる前に行かないと。

幸せすぎるのは嫌いだよ、って嘘をついた。

強がって手放した理想の未来と取り戻せない願い。

ちよつとだけ広いなんて感じた、狭いワンルーム

この狭さが心の隙間を広げていくようだ。

少し長いとを感じるたった一分一秒

君と過ごせたら、と

願うこと　それだけでも許されない世界なの？

たったひとつの小さな嘘でさえ、君の涙を生むことになる。

数え切れない多くの罪を重ねてきた僕だ。

君のその手に触れたこと、君のとなりでそつと生きようとしたこと。

今を一つ拾えば、過去を一つ捨てることになる。

そんな限りある記憶と時間の中で居座っただけの僕の存在なんか、

きつと君の記憶から、消えるんだろっね

もう二度と戻れやしないの？
ここは、始まり？ 終わり？

広い広いベッドの中で眠る夜はまだ、いつまでも明けやしない。

また一人で夢を見るよ 君を、君の記憶をたどる夢をね。

数え切れない多くの罪を重ねてきた僕だ。

君のその手に触れたこと、君のとなりでそっと生きようとしたこと。

孤独、という痛みで償うから、それでいいから、

君の記憶に僕を置いていてよ。

変わらない気持ちでまた出会えたら良いね。

そうしたら、手を繋ごうか。

その時まで「またね」

トリノコシティ（前書き）

40mP fast・初音ミク

トリノコシティ

0と1が交差する地点で、
間違いだらけのコミュニケーションが行われてる。
さて、アナタの名前は？10文字以内で答エヨ。

過去と未来が交差する地点は、
行くあて失う未来が彷徨う。
さあ、アナタはどうして生きてるんだい？
100文字以内で答エヨ。

過去最高速で真っ暗な夜が明けた。
バランスさえ取れずに。

自分だけどこかに取り残されたんだ。
音のなく造られた世界に。
傷んだ果実を捨てるだけだったら2人なんていない。
1人で十分だよ。

昼と夜が交差する地点で、
誰かに会いたいよ。でも会えないよ。
ワタシの名前は？10文字以内で教えてよ。

嘘と本当が交差する地点は、
呼吸が止まりそうな、閉塞感を味わうの。
ワタシが生きる意味は？
100文字以内で教えてよ・・・。

好き 嫌い 好き？嫌い？

馬鹿馬鹿しい繰り返し。

疲れきった愛なんて、もう捨てようか。

時間だけがいつも私を残して過ぎていく。

1秒ごとに世界が崩れていく。

歪んだ景色の真実^{こたえ}なんていらないから、偽りでいい。

自分だけどこかに取り残されたんだ。

色がなく夢に見たようなあの世界。

傷んだ果実を捨てることすら、どうしてかな。

今は1人じゃ出来ないよ……。

誰か、私のそばにいて欲しくて

トリノコシティ（後書き）

いつの間にか三十話超え
あざますます^p^

ゴチャゴチャうるせー！(前書き)

オワタP f a s t 亜北ネル

ゴチャゴチャうるせー！

お前ら、ゴチャゴチャうるせーよ！

「手は洗ったの？」だの「うがいはしたの？」だの
「顔は洗ったの？」だの「歯は磨いたの？」だの
わかってるわ！！ゴチャゴチャうるせー！

「宿題したの？」とか「言い訳するの？」とか

「あきらめようよ？」とか「キミにはムリだよ？」とか
人をがっかりさせんじゃねーよ、ゴチャゴチャうるせー！

ほんと、お前らいちいちうるせえよ！

揚げ足ばかりとってて楽しいのか？

文句は別に言ってもいいけどそいつはさすがに卑怯だろ！
相手の気持ちなんて構っちゃいねー。

満足できりゃそれでいいってか？

そうですか、ストレス発散おめでとさん。

オイラはお前の何なんだ？

お前ら、ゴチャゴチャうるせーよ！

「いつまで寝てるの？」だとか「夢でも見てるの？」だとか
「まだわからないの？」だとか「アナタはバカなの？」だとか
いい加減やめてよね　ほんと、ゴチャゴチャうるせー！

「いつ本気出すの??」やら「やることやったの?」やら
「いつまで逃げるの?」やら「現実見ようよ?」やら

私を落ち込ませないでくださいね。ゴチャゴチャうるせー！

あ、別に愚痴とか吐いてもいいですよ？

私は貴方につかりしますね。

貴方はいちいち泣いたりへこんだり大層ご立派なんですね。

ああ、そうか。みんなによしよされたいのですね。

そんなによしよされたいのですね。

それなら、私が貴方をよしよししましょう。

心も中身もないけどね！

お前らいちいちうるさいんだよ！

影から文句言ってやがるんだ。

んなもん、チラシの裏に書いとけよ。

惨めで哀れで情けねえよ。

言いたいことは痛いほどわかるよ？

だけど、お前が言ったらアウトだろ。

アナタは知らないだろうけど、オイラも人間なんですよ！

本当、マジで、お前ら、ゴチャゴチャうるせー！！

ゴチャゴチャうるせー！（後書き）

息継ぎ難しいけどすっきりする動画

サイハテ（前書き）

小林才ニキス f a s t 初音ミク

サイハテ

あなたが行く、向こうはどんなところなんだろうね？
無事に着いたら便りのひとつでもくれないかな、なんて。

扉を開いて、空へと彼方へと向かうあなたへ。
私のこの歌声と祈りが届けばいいなっと思うの。

雲ひとつない青々とした抜けるほど晴天の今日は、
悲しいくらいにとってもお別れ日和なんだよね。

ありふれたこの人生を紅く色を付けるような
たおやかな恋だったよ。 さよなら。

またいつの日かあなたと会えると信じてたら、
これからの日も変わらず過ごせるよね。

扉が閉まると、私たちはこのまま離れ離れだ。
あなたが出した煙はいずれ雲となって雨を降らせるでしょう。

ありふれたこの人生を紅く色を付けるような
たおやかな恋だったよ。 さよなら。

カゲロウデイズ（前書き）

じん（自然の敵P） f a s t 初音ミクAppend

カゲロウデイズ

それはそれは8月15日の午後12時半ぐらいのことだった。
天気が良い。

病気になるいそうな位眩しい日差しの中かで、
僕たちはすることもないので、駄弁^{だへ}っていた。

「でもまあ、夏は嫌いかな」

猫をなでつつ、君は開き直ったように呟いた。

ああ、猫が逃げていく。その猫を追いかけて飛び込んだのは
赤に変わった信号機の道路。

バツと通ったトラックが、君を引き摺り痛々しく鳴き叫んだ。

血飛沫の色が君の香りと混ざって噎せ返る。

嘘みたいな陽炎^{カゲロウ}が「嘘じゃないぞ」って僕を嗤うんだ。

夏の水色をまるで掻き回すような蝉の声に全てが眩んだ気がした。

目を覚ましたベッドの上。

時計の秒針の音が鳴り響く。

今は何時？

8月14日の午前12時過ぎぐらいを指す時計。

蝉の声がやけに煩いと覚えてた。

でもさあ、少し不思議なんだよね。

同じ公園で、昨日あった夢を思い出していたんだ。

「もう今日は帰ろうか」っていう君の後に続いて道を抜けたとき、
周りの人は皆上を見上げ口を開けていたんだ。

落下してきた鉄柱が君を貫いて突き刺さった。

誰かの悲鳴と風鈴の音が木々の隙間で何度も空回りした。
わざとらしい陽炎が「夢じゃないぞ」って僕を嗤うんだ。

眩む視界、君の横顔を見たとき君が笑っているような気がした。

何度世界が眩んだところで、きっと陽炎が僕を嗤って命を奪う。
そんなことを繰り返してもう何十年。
もうとつくに気がついてるんだろ？

こんなよくある話だったら、結末はきつと1つ。
ほら、繰り返した夏の日の向こうにあるだろう。

君を突き飛ばしたら赤信号に飛び込んだ。

刹那、トラックにぶち当たった。

血飛沫の色が君の瞳と軋んだ体に乱反射する。

何か文句ありそうな陽炎に「ざまあみろよ」って笑ったら

そんな実によく在る夏の日のことがここで終わった。

僕は、8月14日のベッドの上で目を覚ました。

佇む少女は僕を見て「またダメだったよ」と独り猫を抱きかかえそう言った。

カゲロウデイズ（後書き）

高音がきつい

チルノのすうがく教室（前書き）

e i k i · f a s t · 初音ミク

替え歌です。釣りじゃないです。

チルノのすうがく教室

キラキラとダイヤモンドみたいに輝く夜の闇は
憧れたあの頃の小さな私を思い出させる。

栄光や志望校。夢を見たあの時間へと
帰りたいと願う日々たちは儚く過ぎ去っていくのね。

あの場所をバスが出て、はじめに三人乗りました。
夢半ば一人降りました。彼女は親の仕事を継ぎました。

時は経ち、また一人降りました。

彼女はお嫁となり嫁いでいきました。
降りそこねた私。バスはただ進んでゆくだけ。

仕事に意味なんてないわ。
焦りが私を蝕んでいくの。
あの頃の元気はどこに落としたんでしょうね。

くるくると時計の針は情無く回る。
二本の針は秒針に追いつけないの。

次々壁にあたる。それでもまだまだ道は続いていく。
ひんやりとしたオフィスの中で、私の時間だけが止まった気がした
の。

常識や作法、セオリー。

この世はどんな仕組みで動いているの？
ヒミツの呪文なんて、とつくに覚めたわ。

ヘラヘラゲラゲラ笑いながら、豚をおだててゴマをする。
卑しい上下社会だわ。

キラキラとダイヤモンドみたいにきらめく夜の闇は
沢山の希望が散った、夢の跡地。

幸せとか富に名誉を願ったあの時間に、
もし、出来るのであれば一度だけでいいから、また戻りたい。

チルノのすうがく教室（後書き）

PV 笑えるよね……

沙上の夢喰い少女（前書き）

ハチ f a s t 巡音ルカ

沙上の夢喰い少女

ブーゲンビリアの花が給水塔の上で咲いたよ。

今でもしわ枯れの空まで、迷い星を探してるんだ。

居場所が、絵本がない。

コウノトリは赤ん坊を連れ去った。

気味の悪い夢だつて私が全部食べるよ。

ほら、痛い痛い飛んでいけ。

君に、安らかな歌声を。

ブーゲンビリアの花が給水塔の上で咲いたよ。

夜明けはまるで紫陽花の花の様。

眠る水脈^{みお}は透明に流れる。

震える度に聞こえないふりをする。

まどろみが、君を傷つけ、それさえやまないんだ。

思い出の話を語ってちょうだい。曖昧な格好だね。

洒がれた闇さえ飲み干す、息を吐くような甘い声で。

ああ輪郭を失った君。 そんな君だけに子守唄を！

気味の悪い夢だつて私が全部食べるよ。

君の涙で胸が痛い。

あまりに残酷すぎて溺れた夜も側にいてよ。

この朝に二人、夢を見たんだ。

飲み込むのが怖いぐらい、光を飲んだ淡い夢を。

沙上の夢喰い少女（後書き）

ボカロ増えすぎじゃね？

今イラスト公開されてるだけで23……

んまあww一応ww全部ww

いwwえwwまwwすwwけwwどww

そして更に三分の二は描けますけどwwwwww

ええ ただのバカ自慢ですけどww

何かwwwwwwwwww

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8981w/>

僕たちの歌姫

2011年11月23日14時55分発行